

「見ること・見えること」 は必須の身体機能です



生まれたばかりの赤ちゃんが歩いたり
話し始めたりする成長と同じで

「目」にも成長期があります

弱視？

私たちは目の網膜に像が映っただけではものを見ることができません。両目からのその像が視神経を通して大脳に伝えられてはじめて見えます。この道筋を視覚伝導路といいます。

毎日目を使って絶えずものを見ていないと、子どもの視力は発達しません。発達の途中になにかの原因でものが見にくい時期があると、見にくい方の目は視力の発達が止まってしまう。

ものをはっきり見ることができにくい状態にあると、視覚伝導路に適切な刺激が与えられないこととなります。子どもの視力の発達にはこの刺激が必要で、そのない状態だと**視力の発達が止まり「弱視」**になるのです。

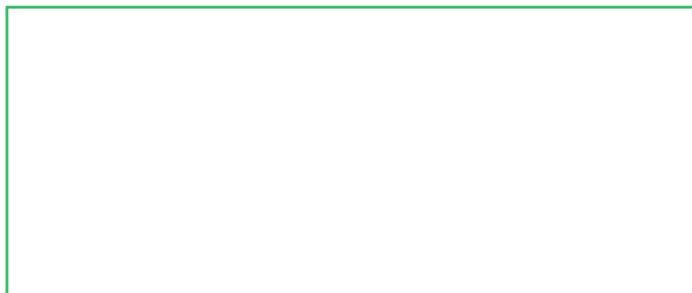
弱視が良くなるかどうかは、視力の発達がどの程度、またどれ位の期間おさえられているかによります。程度が強いほど、期間が長いほど、弱視の回復は困難になります。³ 弱視により、子どもの知的成長の障害、学力の発達のさまたげになることもあります。⁴

**子どもの弱視は早期発見、
早期治療が重要です**



**スクリーニング検査は簡単です
当院でも実施しております**

6ヶ月以降のお子さんであれば、ウェルチ・アレンの
スポットビジョンスクリーナーで簡単に短時間で、
目の弱視危険因子を見つけるスクリーニングが可能です。



参考文献

1. Pechereau A. https://www.youtube.com/watch?feature=player_detailpage&v=cKqmmRFEPUG
2. Gazzaniga, M.S.; Ivry, R. B.; Jangun, G. R.: Cognitive Neuroscience, the Biology of the Mind. New York: WW Norton & Co., 1998
3. 子どもの弱視・斜視 帝京大学 丸尾敏夫(2005年12月01日) 公益社団法人日本眼科協会「目についての健康情報」
<http://www.gankaikai.or.jp/healthy/betsu-003/>
4. Zaba J., Children's Vision Care in the 21st Century & Its Impact on Education, Literacy, Social Issues, & the Workplace: A Call To Action, Sept. 2008

Welch Allyn

ウェルチ・アレン・ジャパン株式会社

<http://www.welchallyn.jp/visionscreener/>

© 2017 Welch Allyn JPCAT_SVS_LTFCL_2017v2



お子さんの目は見えていないかも知れません
そしてそれに気付いていないかも知れません

**目が悪いことは、日常生活では
気付けない場合も多いのです**

**「目が悪い」ことに気付くためには
専門のスクリーニング検査が必要です。
早く気付くことで、お子さんの
明るい未来につながります。**



50人に1人

のお子さんが「弱視」がある
可能性があります

スクリーニング検査は短時間で簡単にできます。
当院でも実施しております。受付までお問合せください。

「遅すぎた…」となる前に
検査しましょう

弱視

は予防/治療のできる病気です。
いますぐスクリーニング検査を受けてみませんか？

スクリーニング検査は簡単です
当院でも実施しております

子どもの目の「弱視」は
2～3%の確率でおこっています

しかし弱視は早期に発見されれば
有効な治療が可能です。

4歳以下で
治療が開始できれば

95%

の弱視は
改善できます¹

お子さんの
弱視治療は

早ければ早いほど
高い効果

が期待できます



12歳までの

80%

の学習能力は
視覚を通じたものです²

機器を使用しての目のスクリーニング検査

AAP(米国小児科学会：American Academy of Pediatrics)では3歳から5歳のお子さんには、
通常の視力検査に加え、**機器を使用した他覚的検査が有用である**としています。



スポットビジョンスクリーナーは乳幼児から成人までの「見る能力」を迅速かつ正確に検知します。

【測定内容】

近視/遠視/乱視/斜視

不同視（近視や遠視などで左右の目の度数差があること）

瞳孔不同（左右で瞳孔の大きさが違う状態）



&



【三歳児健診 目に関する検査項目（一部抜粋）】（該当項目に○）

- ・視線が合わない
- ・片目を隠すと嫌がる
- ・目の動きが気になる
- ・テレビを近くで見ている。離れると見えにくいようだ
- ・ものを見るとき、顔をしかめたり、目を細める
- ・ものを見るとき、顔を傾ける
- ・顔を回して横目でものを見る
- ・明るい戸外で片目をつぶる
- ・上目づかいで見る

上記項目に該当することがありましたら、
是非一度、目のスクリーニング検査を受けましょう。



検査結果サンプル

Welch Allyn